



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 エムティジェネクス株式会社
コード番号 9820 URL <https://www.mt-genex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 均

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 長野 幸司

TEL 03-5405-4011

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,515	0.2	143	22.0	150	21.7	94	20.7
2022年3月期第2四半期	1,511	28.3	184	152.2	192	143.3	119	46.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 94百万円 (20.1%) 2022年3月期第2四半期 118百万円 (44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	87.80	
2022年3月期第2四半期	110.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	4,503	3,527	78.3	3,277.02
2022年3月期	4,588	3,475	75.8	3,228.86

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,527百万円 2022年3月期 3,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	9.4	340	3.3	350	2.1	220	3.5	204.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,079,600 株	2022年3月期	1,079,600 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,141 株	2022年3月期	3,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,076,459 株	2022年3月期2Q	1,076,476 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響が長期化している中、重症化リスクの減退により行動制限が緩和され、社会経済活動が徐々に正常化に向かいつつあるものの、本格的な回復には至っておりません。また、ウクライナをめぐる国際情勢等により原材料価格が上昇しており、景気の先行き不透明な状況は依然として続いております。オフィスマーケットにつきましては、新型コロナウイルス感染症による企業のテレワーク浸透やオフィス環境の変化によるオフィスの集約や縮小等に起因した空室率の上昇、賃料水準の低下が継続しておりますが、落ち着きつつあります。また、建設業界におきましては、工事受注は底堅く推移しているものの、新型コロナウイルス、ウクライナをめぐる国際情勢の影響による建築資材の調達の遅れによる工期の延長や価格の高騰などが懸念されます。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,515,113千円（前年同期比3,121千円増）、営業利益143,756千円（同40,544千円減）、経常利益150,901千円（同41,930千円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益94,515千円（同24,643千円減）となり、前年同期比増収減益となりました。なお、通期の業績見通しにつきましては、工事部材供給遅延による工事の引渡しの後ずれが解消される見通しであり、前期から増収増益を見込んでおります。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業セグメント	当第2四半期連結累計期間		前第2四半期連結累計期間		増減	
	売上高 (千円)	セグメント 利益又は損失 (千円)	売上高 (千円)	セグメント 利益又は損失 (千円)	売上高 (千円)	セグメント 利益又は損失 (千円)
リニューアル	442,148	98,624	473,748	142,385	△31,600	△43,760
駐車場	652,797	118,212	633,452	104,195	+19,344	+14,017
施設等保守管理	386,293	△12,565	370,140	△4,337	+16,153	△8,227
保険代理	33,874	18,710	34,650	20,835	△775	△2,124
合計	1,515,113	222,983	1,511,991	263,078	+3,121	△40,094

・リニューアル

オフィスの内装リニューアル工事において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による一部の工事部材供給遅延が依然として継続しており、一部工事の完工が下期にずれの結果、前年同期に対し減収減益となりました。

・駐車場

新型コロナウイルス感染症拡大による影響が回復傾向となり、月極駐車場の契約台数の増加や時間貸駐車場の稼働が上がった結果、前年同期に対し増収増益となりました。

・施設等保守管理

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が終了したことによるオフィスワーカーの出勤増加に伴い、オフィス向けの衛生消耗品の販売量が増加したことで増収したものの、電気設備システムの保守保全事業において技術者の採用等で費用が先行した結果、前年同期に対し増収減益となりました。

・保険代理

火災保険、工事保険が堅調に推移した結果、前年並みの業績となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ84,894千円減少いたしました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が52,726千円増加、現金及び預金が130,057千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ136,734千円減少いたしました。主な要因は、保険代理業務等における預り金が113,373千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ51,840千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当43,058千円、親会社株主に帰属する四半期純利益94,515千円を計上したことによるものであります。

以上の結果、総資産は4,503,261千円、負債合計は975,684千円、純資産合計は3,527,577千円、自己資本比率は78.3%、1株当たり純資産額は3,277円02銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は1,716,294千円（前連結会計年度末比130,057千円減少）となりました。

営業活動により減少した資金は82,837千円（前年同期比は186,418千円減少）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益150,901千円、支出の主な内訳は、預り金の減少額113,373千円、売上債権の増加額62,104千円、法人税等の支払額91,476千円であります。

投資活動により増加した資金は18,502千円（前年同期比は25,782千円増加）となりました。増加の内容は、定期預金の減少額18,400千円であります。

財務活動により減少した資金は65,721千円（前年同期比は8,032千円減少）となりました。主な内訳は、配当金の支払額42,883千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想（2022年5月13日発表の「2022年3月期 決算短信」に記載）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,846,352	1,716,294
受取手形、売掛金及び契約資産	206,383	259,109
完成工事未収入金	29,332	38,710
未成工事支出金	1,845	40,539
関係会社短期貸付金	2,000,000	2,000,000
その他	38,711	30,163
流動資産合計	4,122,625	4,084,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,347	89,347
減価償却累計額	△20,164	△22,213
建物及び構築物（純額）	69,183	67,134
機械装置及び運搬具	2,087	2,087
減価償却累計額	△1,367	△1,511
機械装置及び運搬具（純額）	720	576
土地	58,820	58,820
その他	46,554	46,799
減価償却累計額	△38,271	△39,998
その他（純額）	8,283	6,801
有形固定資産合計	137,007	133,331
無形固定資産		
のれん	120,894	103,623
その他	1,379	1,132
無形固定資産合計	122,273	104,756
投資その他の資産		
投資有価証券	42,705	43,311
敷金及び保証金	58,216	57,775
繰延税金資産	86,072	78,441
長期預金	18,400	—
その他	854	827
投資その他の資産合計	206,249	180,355
固定資産合計	465,530	418,443
資産合計	4,588,156	4,503,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,574	99,351
短期借入金	6,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	23,676	25,199
工事未払金	75,448	127,864
未払法人税等	106,118	56,081
契約負債	57,737	50,087
預り金	175,549	62,176
賞与引当金	29,595	29,806
資産除去債務	4,706	4,706
その他	83,233	74,944
流動負債合計	664,639	540,217
固定負債		
社債	70,000	65,000
長期借入金	141,797	128,436
長期預り敷金	93,267	96,747
退職給付に係る負債	108,281	109,150
役員退職慰労引当金	34,433	36,133
固定負債合計	447,779	435,467
負債合計	1,112,418	975,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,072,060	1,072,060
利益剰余金	2,413,267	2,464,724
自己株式	△11,636	△11,636
株主資本合計	3,473,691	3,525,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,045	2,429
その他の包括利益累計額合計	2,045	2,429
純資産合計	3,475,737	3,527,577
負債純資産合計	4,588,156	4,503,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,511,991	1,515,113
売上原価	1,088,888	1,134,630
売上総利益	423,103	380,483
販売費及び一般管理費	238,802	236,727
営業利益	184,301	143,756
営業外収益		
受取利息	5,576	4,981
受取配当金	829	931
雑収入	1,921	820
その他	752	706
営業外収益合計	9,079	7,439
営業外費用		
支払利息	549	294
営業外費用合計	549	294
経常利益	192,831	150,901
特別損失		
リース解約損	789	—
特別損失合計	789	—
税金等調整前四半期純利益	192,041	150,901
法人税、住民税及び事業税	68,074	48,923
法人税等調整額	4,807	7,462
法人税等合計	72,882	56,385
四半期純利益	119,159	94,515
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,159	94,515

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	119,159	94,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△427	383
その他の包括利益合計	△427	383
四半期包括利益	118,731	94,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,731	94,898
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	192,041	150,901
減価償却費	4,958	4,167
のれん償却額	17,270	17,270
賞与引当金の増減額 (△は減少)	751	210
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,181	869
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,366	1,700
受取利息及び受取配当金	△6,405	△5,912
売上債権の増減額 (△は増加)	170,179	△62,104
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,177	△38,657
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	59,638	8,509
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△7,653	△15,233
仕入債務の増減額 (△は減少)	△67,684	59,193
預り金の増減額 (△は減少)	△223,996	△113,373
未払費用の増減額 (△は減少)	△303	△460
その他	△2,750	△4,356
小計	144,416	2,723
利息及び配当金の受取額	6,404	5,914
法人税等の支払額	△47,240	△91,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,580	△82,837
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△680	△245
定期預金の増減額 (△は増加)	△6,600	18,400
その他	—	347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,280	18,502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,000	△6,000
長期借入金の返済による支出	△11,838	△11,838
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
自己株式の取得による支出	△51	—
配当金の支払額	△42,799	△42,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,689	△65,721
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	38,611	△130,057
現金及び現金同等物の期首残高	1,529,686	1,846,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,568,297	1,716,294

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	リニューアル	駐車場	施設等 保守管理	保険代理	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	473,748	633,452	370,140	34,650	1,511,991	—	1,511,991
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	473,748	633,452	370,140	34,650	1,511,991	—	1,511,991
セグメント利益又は 損失(△)	142,385	104,195	△4,337	20,835	263,078	△78,777	184,301

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各事業に帰属しない管理部門の一般管理費であります。
2. 各報告セグメントの外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	リニューアル	駐車場	施設等 保守管理	保険代理	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	442,148	652,797	386,293	33,874	1,515,113	—	1,515,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	442,148	652,797	386,293	33,874	1,515,113	—	1,515,113
セグメント利益又は 損失(△)	98,624	118,212	△12,565	18,710	222,983	△79,227	143,756

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各事業に帰属しない管理部門の一般管理費であります。
2. 各報告セグメントの外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)の仮定に重要な変更はありません。